



竹灯り



竹本殿



竹柵

- ・孟宗竹林
- ・6000坪
- ・130~150年

竹のてんじんさん

- ・整備着手 平成 8年
- ・整備終了 平成 23年
- ・併設花木園平成 23年

整備内容

インフラ関連

- ・南北横断車道
- ・斜面4本小道
- ・チップ化スペース
- ・全周金網柵
- ・導入口コンクリート化
- ・大型門扉
- ・大テーブル/ベンチ

大型工事

- ・全面伐採
- ・残置竹材回収
- ・500坪作業スペース
- ・竹廃材埋立
- ・竹林内花木園

恒例作業

- ・筍採取 3月~5月
- ・細竹/密生青竹伐採
- ・迎春竹灯り用伐採
- ・下草刈り払い
- ・不要竹チップ化

利用機械

- ・自走式チップパー
- ・四輪バギー
- ・チェーンソー 4台
- ・刈り払機 2台
- ・軽トラック 1台
- ・作業用丸ノコ 1台
- ・作業用ボール盤 1台



作業推進

研究グループ

- ・竹資源活用フォーラム
- ・竹文化振興会
- ・京都工業試験場竹工部

協力企業/団体

- ・株式会社 御池
- ・小浜竹炭生産組合
- ・成喜建設(株)
- ・(有)中川建材工業
- ・立正佼成会高槻北支部
- ・大島造園土木(株)
- ・(有)アグリパートナー宮崎
- ・キャティア株式会社
- ・(株)ヒューマンルネッサンス研究所

成果発表

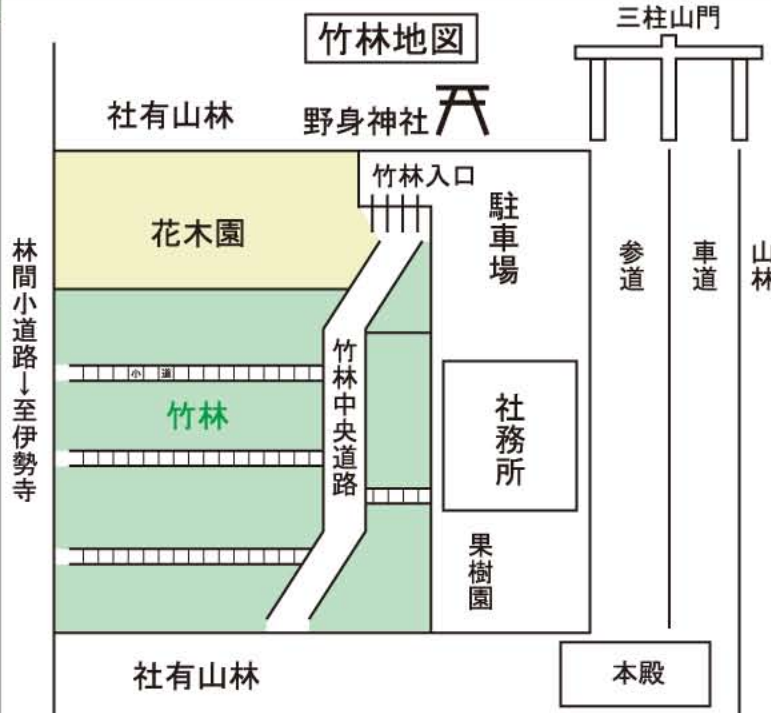
- ・朝日新聞 アエラ
- ・Bamboo Voice
- ・竹文化振興会 [竹]
- ・新聞取材多数

個人参加

- ・渡邊政俊先生
- ・(株)テクノ
- ・天満宮神職/職員
- ・大翔岳風会有志
- ・てんじんご奉仕団
- ・高槻市文化財スタッフの会

花木寄贈

慶応義塾大学法学部
法律学科34年A組



〒569-1117

高槻市天神町1-15-5



上宮天満宮

TEL 072-682-0025

FAX 072-682-0528

<http://www.tcn.zaq.ne.jp/jogu>

竹林美化に取り組む”天神”レポート ✿ 上宮天満宮

清々しい社域環境	基本姿勢	竹は持続可能な木質資源
6000坪の整備された孟宗竹林は都心の風景美。 神社域のイメージアップと心安らぐオアシスです。		木材30年、竹材5年、成長に掛かる年月です。森林の乱伐は砂漠化、気候変動、災害多発を生みました。今、竹が注目されています。
野身講組織	運営維持	てんじんご奉仕団
竹林／山林に隣接する野身神社を守り神とし、個人・法人有志30名を中心に維持管理の推進		色々な分野で<技術>を持つリタイヤ中高年が筍掘りから伐採、チップ化作業を受け持って年間行事に合わせて作業。
計画採取	筍	福祉施設寄贈
3月中旬から5月上旬迄、専任者の判断により場所を変えながら適正配置になるように採取。外部団体も参加。		約30の大型施設に対し、年間定期的に引取出荷。2000本近くを差し上げ4000人を超える皆様に春を楽しんで頂きます。
11月～12月に伐採	間伐	外部提供
竹を刈るのは秋。竹灯り用や新春ディスプレイ用に秋口から大量伐採。チェーンソウ主体に、時には大型ユンボまで動員		七夕、クリスマス、流しソーメンなど行事に関連、ご希望者に目的を伺い無償提供しております。
社内で最終処理	チップ化	チップの活用
竹林伐採で発生した<不要竹>は丸ごとチップパーで処理。 その他剪定の枝葉などもすべて同様処理。		除草剤、舗装用を中心に、堆肥材料や竹林内散布で土壌改良
春爛漫、竹林パーティ	宴遊会	風趣幽幻”竹灯り”
年間を通じて境内清掃を続けて頂く団体個人グループの方々の自主筍掘りに合わせて、花の下での小パーティ		香梅園を中心に折々の竹灯り、背景が活かされどこにもない夢のような光景です。
竹づくし、多様な利用	竹活用	竹のてんじんさん
境内で、そして神社周囲を延々と囲う竹利用のアイデア。 簡単な取替と大量使用により竹林維持を支えます。		竹づくりの本殿、竹灯り、竹のディスプレイ、そして社務所は竹の建材が使われ人呼んで竹のてんじんさんとなりました。
花木園	千瓣万華	竹プラス花
竹林入り口の500坪を大型花木園に転換。桜、梅、ローバイそして40年物のサルスベリを大量配置。彩も添えました。		弊社は境内外に<花>を増やし、小庭園、並木づくりに注力。静かな環境で緑の中の花の表情に目を留めて・・・

代表役員
ご挨拶

荒れ果てた竹林の整備と完全な内部処理体制の確立を目指した取組を始めたのは平成8年のことでした。以来全国組織の専門家ネットワークと個人法人の有志の手で曲がりなりにも完了したのが先年末であり、関係各位に厚く御礼申し上げる次第です。